

報道関係者各位

2011年9月30日

＝新商品発売のお知らせ＝

現代土間の空間がもたらすのは、家族の暮らしにゆとりと広がり
土間のある家「ドマーチェ」新発売



全国で木造軸組工法による住宅のフランチャイズを展開している株式会社ユニバーサルホーム（代表取締役社長：加藤 充、本社：東京都中央区）は、現代風にアレンジされた「土間」という空間が間取りにアクセントを与え、家族の住まいに暮らしのゆとりと広がりをもたらしを提案する「ドマーチェ」を平成 23 年 10 月 1 日（土）より全国（沖縄・一部地域を除く）で発売します。価格は標準地域で 31.7 万円/坪（税別）より ※工事面積 40 坪以上

かつての日本の住まいには欠かせなかった「土間」は、人々の暮らし方が変わる中で、様々な理由から小さく変化していききました。屋外のような屋内である空間の「土間」は、暮らしの広がりや豊かさを育む空間、新しい住まい方を発見する空間として様々な活用ができます。

ユニバーサルホームの土間は、「地熱」を利用した地熱床システム＋エコ床暖なので夏はひんやり、冬はあったか。さらにタイル敷きの土間床は、地熱や床暖房の暖かさの恩恵を存分に受けることができ、快適な暮らしを生まれます。更に、制震効果の高い地熱床システムは、地震にも強い低重心の安定した建物です。

大谷石調の質感と現代風にデザインした和の外観が調和してナチュラルな印象をプラスした「ジャパニーズモダンタイプ」、大谷石調の質感ある外壁をあしらい、都会的でモダンな印象に立体的な陰影をプラスした「クールモダンタイプ」の 2 通りの外観を用意。また、住む人それぞれの住まい方や敷地の条件にあわせられるよう 10 タイプの間取りもご提供。長期優良住宅にも対応したプランにしております。

◆土間空間が生み出す多様性



段差がつなぐ 集（つどい）土間

土間空間では、段差と部屋との境界を活かし様々な生活スタイルを演出します。和室の玄関からつながる入り口は縁側のように気軽に座れる場所に。そしてリビングと繋がる土間ならさらにコミュニケーションを育む空間として使えます。



おもてなしの 通（とお）り 土間

玄関から入り、奥へと続く通り土間は、連なる部屋を靴で行き来できる便利な場所。また、視線が通り抜ける土間は、おもてなしの風情を醸し出す土間を演出します。



内外のつながり 趣（おもむき）土間

建物の南側に設けたオープンな土間は、庭にも直接出入りでき、自然とつながる気持ちのよい空間です。内と外をつなぐ中間的な場所として光と風を取り込んでくれます。また、リビングやダイニングに繋がる土間は室内に開放感と広がりを持たせ、趣に満ちた土間空間です。



外のような内のような 遊（あそび）土間

室内にいても、外での楽しみを実現できるのが土間空間の最大の魅力です。土間スペースなら、趣味で使うものを置いたり、おもちゃで遊ぶ道具を子供が押ししたり引いたりする動作も気になりません。子供の遊び場・趣味の場としてフレキシブルに使え、気軽に楽しめる暮らしの幅がぐんと広がります。

◆2階にも光と風を取り込む

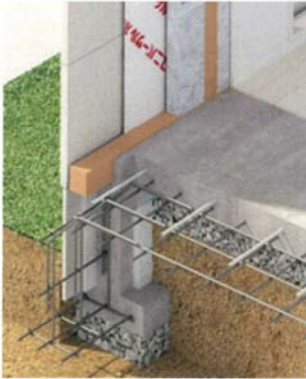


たくさんの光が降り注ぐ、バルコニーに面したサンルーム

2階に第2のリビングにもなるサンルームを設置しました。出入り口のアルミ引戸を開けると大きな空間が広がります。光が差し込む気持ちのよい空間でくつろいだり、お茶を飲んだり、快適に過ごせるフレキシブルな空間です。

●地熱床システムは地震にも強い

地震に強い基礎「地熱床システム」

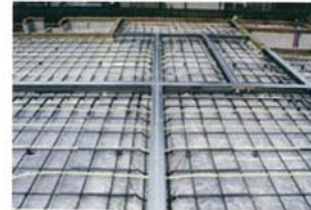


地熱床システム断面イメージ

砂利を地面から床下まで敷き詰め、密閉した地熱床システム。線路に敷き詰められた砂利と同じように、大型車両などによる外部からの振動を吸収・分散する特許工法の基礎です。その上、砂利は地面とほぼ一体化し、外部からの圧力も砂利間で吸収・分散するため、地盤にかかる負担を大幅に軽減し、地震振動の吸収、床下浸水の防止など、万が一の災害から暮らしを守ります。これが、ユニバーサルホームならではの家族の守り方なのです。



敷き詰められた砂利が振動を分散・吸収します。



H形鋼材とコンクリートによる一体化で高強度を実現。(画像はコンクリート打設前)

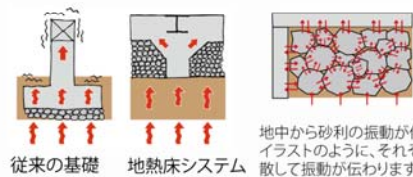
振動に効果あり！砂利の役割

線路に石が敷かれているのはなぜでしょう？

ひとつの石に振動が伝わると、分散して次の石に振動が伝わります。だから重たい列車の衝撃を吸収するのです。

地熱床システムの砂利層も線路と同じ原理。石が次の石に振動を分散して伝えるのです。また、隣り合う石と振動をやりとりしたときに、その振動を消しあう効果をもたらします。これがコンクリートだけでは振動や衝撃をまともに受けてしまいます。

地熱床システムの砂利層は、地中の振動も吸収して緩衝材の役割を果たしてくれるのです。



従来の基礎

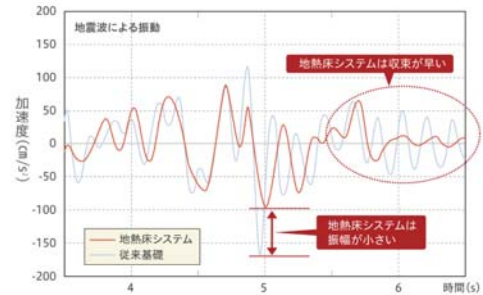
地熱床システム

地中から砂利の振動が伝わると上のイラストのように、それぞれの石に分散して振動が伝わります。分散した力が、更に分散し、隣り合う石との振動をやりとりした時に、振動を打ち消し合う効果をもたらします。

揺れを吸収する制震効果

地熱床システムの住宅と従来の基礎を持つ住宅に、中小地震を想定した地震波を入力し、解析的に建物の振動を算定しました。地熱床システムの振動(赤い線)は、振幅(振動の大きさ)が従来の基礎(青い線)に比べ小さく、大きな振幅の後に振動が早く収束していることが分かります。

東京都立大学西川研究室・工学博士西川孝夫教授(実験当時)および株式会社堀江建築工学研究所による実験報告(株式会社八洲 資料)



● 参考プラン

ジャパニーズモダンタイプ(Do-44SB-M)



クールモダンタイプ(Do-42B-M)



1F



2F



1F



2F